

# シマフクロウの森保全活動 「2009年度植樹根室地区」 2011年評価報告書

2011年11月16日  
環境プランナー協議会  
恒藤克彦

## ■ 評価の対象と目的

公益財団法人日本野鳥の会が実施した「シマフクロウの森を育てよう！ プロジェクト」による森づくりで2009年に植樹された根室地区。植樹後約2.5年になる。

- ①生物多様性保全からみた環境負荷の把握が実施されている
  - ②保全活動の記録管理（作業日誌等による）が実施されている
- ことによって、保全活動の管理の履歴が適切に記録されていることを評価する。

## ■ 最近1年間の事象

- ・2011年7月25日、下刈工事
- ・2011年9月26日、日本野鳥の会による苗木の生育状況チェックを実施

## ■ 実施した評価の概要

評価手続きの概要は以下のとおりである。

1. 環境負荷の把握のための作業日誌の閲覧
  - ・7月25日実施された下刈工事の「環境負荷の把握と施工前後の写真資料が添付された報告書」を確認。
  - 3.0時間、刈払機を稼働させ刈払ったササ等は、細かく切断されてその場に放置。廃棄物の発生もなく、特に問題はない。
2. 「根室協賛区画の苗木の生育状況」調査日：2011年9月26日、を確認。苗木の生存率が正確に把握されている。
3. 現地検分
  - ・2011年9月28日実施。
4. 日本野鳥の会、現地管理者へのインタビュー
  - ・サンクチュアリ室 富岡室長、野鳥保護区事業所 小畑レンジャーにインタビュー。

## ■ 結論

結論は以下のとおりである。

1. 提供された情報の内容は、認定基準を満たしている。
2. 環境プランニング学会「森づくり・里山里林保全アセスメントの手引き」の基準により97点/100点となり、昨年につづき「優良」と評価する。

## ■ 添付資料

- ・「2009年度植樹根室地区」2011年評価シート
- ・シマフクロウの森「2009年度植樹および付帯作業確認報告書植樹根室地区」2011年現地検分報告書

以上

プロジェクト名 “The forest of the fish owl”プロジェクト

2009年度植樹 根室地区

作成者 恒藤克彦

作成日 2011年10月26日

承認者

評点合計	97 点/100点
------	-----------

1. 活動の概要				適合項目数	4	評点の平均値	5.0	評点	20 点/20点
評価項目	適否	評点	観察事項の内容						
① 活動目的	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹によって森林生物が生息可能な森をつくる</li> <li>・樹木を育成して、二酸化炭素を吸収する</li> <li>・絶滅危惧種シマフクロウを救う</li> </ul>						
② 活動計画	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年間の管理作業を計画している</li> <li>・100年後をめざしたイメージが作成されている</li> </ul>						
③ 活動地域	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渡り鳥やタンチョウの生息地である国設鳥獣保護区風蓮湖畔に隣接した日本野鳥の会が所有する野鳥保護区</li> </ul>						
④ 実施主体者	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人 日本野鳥の会</li> </ul>						
項目評価コメント		・昨年と変更なく、良好に維持されている。							
2. 在来種、従来種、原種管理				適合項目数	3	評点の平均値	5.0	評点	20 点/20点
評価項目	適否	評点	観察事項の内容						
① 樹種選定 種類、本数、産地、 種の原産地	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に繁殖するミズナラ、ヤチダモ、ハルニレ、ケヤマハンノキの4種類</li> <li>・苗木100本/1区画、約170平方メートル（立ち枯れ等のリスクを考慮した植栽率）</li> </ul>						
② 樹種の地域植生との 合致性（侵入性外来種、 GMO：遺伝子組換え体）	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗木の育成地は近隣の別海地区</li> <li>・仕入先は別海町森林組合苗畑</li> </ul>						
③ 苗木仕入先情報	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別海町森林組合</li> </ul> <a href="http://hokkaido.lin.gr.jp/sinrin/betukai/betukai.htm">http://hokkaido.lin.gr.jp/sinrin/betukai/betukai.htm</a>						
項目評価コメント		・昨年と変更なく、良好に維持されている。							
3. 保全活動による環境負荷				適合項目数	2	評点の平均値	5.0	評点	20 点/20点
評価項目	適否	評点	観察事項の内容						
① 苗木の搬入経路	否		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい植樹の実施はない</li> </ul>						
② 苗木搬入におけるエネルギー使用量	否		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい植樹の実施はない</li> </ul>						
③ 植え付け作業におけるエネルギー使用量	否		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい植樹の実施はない</li> </ul>						
④ 付帯作業における資材使用量	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月25日に下刈り作業が実施された</li> <li>・資材の使用はない</li> </ul>						

⑤ 付帯作業におけるエネルギー使用量	適	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2.2トン車 55.0km(別海～槍昔を往復)、1.4トン車55.0km(別海～槍昔を往復)、と適切に記録されている</li> <li>・ 刈払機1台(使用燃料：混合)を3.0時間稼働、と適切に記録されている</li> </ul>
項目評価コメント	・ 昨年の下刈作業時間は、3.5時間。作業報告書は適切に記録されている。		

4. 付随的に発生する環境負荷の処置				適合項目数	2	評点の平均値	5.0	評点	20 点/20点
評価項目	適否	評点	観察事項の内容						
① 廃棄物発生量	適	5	・ 下刈作業で発生したササ等は、刈払機によって細かく裁断されその場に放置するため、廃棄物の発生はない						
② 廃棄物処理	適	5	・ 廃棄物の発生はない						
③									
④									
項目評価コメント	・ 下刈作業で発生したササ等は、その場に放置され表土の乾燥を防いでいる。								

5. 森、里山里林の健全度				適合項目数	5	評点の平均値	4.2	評点	17 点/20点
評価項目	適否	評点	観察事項の内容						
① 日が差し込む明るい森	適	5	・ 西側が道路に面しており、天空は明るく開いている。						
② 植物の種類が多く、よく繁殖している	適	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケヤマハンノキは、ハンノキハムシが昨年に続き発生している枯死、欠損が54/200本となった</li> <li>・ ミズナラも枯死、欠損が多く発生している</li> <li>・ ひこばえになっているが、生育は遅くなる可能性がある</li> <li>・ 大きく順調に生育しているものもあるので、今後、どの木が残っていくのかを注意深く観察し、管理するひつようがある</li> <li>・ 鹿の害はない</li> </ul>						
③ 鳥の種類が多く、さえずりがよく聞こえる	否		・ まだ、森になっていないので評価は否とする						
④ 落ち葉が堆積し、土壌がスポンジ状でふわふわしている	適	5	・ 下刈作業で発生したクマザサが小さく砕かれていることもあって、10cm以上の土壌がある						
⑤ 土壌に棲む生き物が多い	適	5	・ 豊かな土壌で、土壌生物も多く生息して良好である						
⑥ 美しく、気分が休まる	否		・ まだ、森になっていないので評価は否とする						
⑦ 一本一本の木が元気で、炭素の吸収が盛ん	適	3	・ 概ね順調に育っているが、枯死、欠損もあってばらつきが発生している。植樹3年目であり、今後を見守る必要がある						
⑧									
項目評価コメント	・ 鹿やウサギの害もなく、順調に成育している。								

総合評価コメント

- ・植樹から3年目となり、下刈作業が実施された。下刈作業の作業内容は、「植樹における環境負荷の把握」シートに詳細に適切に記録されている。
- ・廃棄物等の発生もなく、樹木の育成管理は適正に実施されている。
- ・枯死、欠損が発生してきているので、今後、どのような樹木の森になるのか見守ることが重要と思われる。

# シマフクロウの森「2009 年度植樹根室地区」 2011 年現地検分報告書

2011 年 10 月 23 日 作成  
環境プランナー協議会  
恒藤克彦

## 検分実施日

2011 年 9 月 28 日(水) 15:00~15:50 天候：晴れ

### 1) 植樹地の概況

・9 月 21 日の台風で、ハンノ木の苗木が 3 本折れる被害があったが、シカよけネットには損傷がなかった。



・7 月 25 日実施された下刈りによるクマザサの碎かれた葉が厚く積もっており、地表面は良い状態である。



### 2) 植樹された樹木の状況

#### ・ヤチダモ

200 本中 197 本 (99%) が順調に成長している。3 本が枯死したが、この 3 本にはひこばえ (幹は枯死したが、脇から出てきている枝が生育) となっており、200 本すべてが生育している。



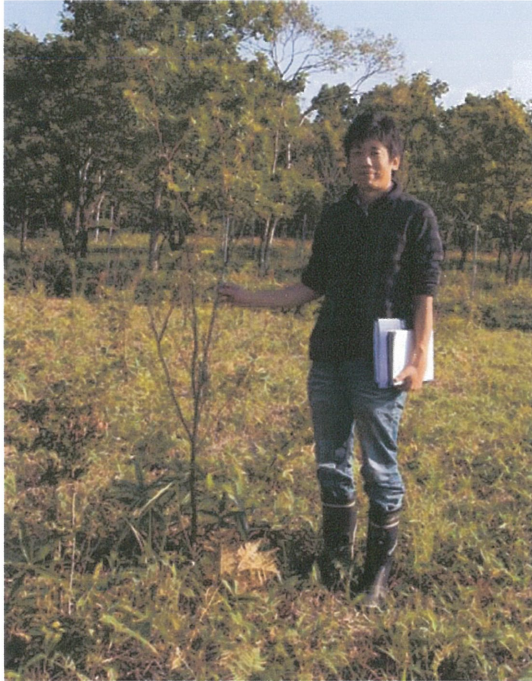
#### ・ハルニレ

200 本中 172 本 (86%) が順調に生育。21 本はやや生育不良、7 本がひこばえになっているが、200 本すべてが生育している。ハルニレは、この地では強そうである。



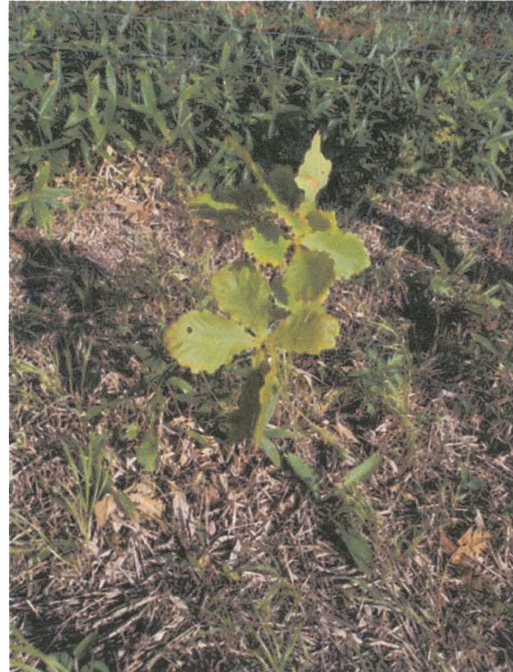
・ケヤマハンノキ

昨年発生したハンノキハムシが今年も発生し、葉が網状に食べられる被害が発生した。その影響もあって、54本が枯死・欠損となっている。生存率は73%。枯死・欠損が多く発生したが、生育しているものは、その生育スピードが速く、写真のように1m70cmを越えるものもある。



・ミズナラ

枯死・欠損が97本、順調に育っているものが11本、ひこばえが92本と生育率は、52%に留まっており、今後の植樹では注意が必要と思われる。ただし写真のように、順調に生育しているミズナラは、葉も大きくて元気である。



3) 樹木全体の生育状況

全体の状況は、昨年から比べてそれぞれの苗木は大きくなりしっかりとしてきた。一部に枯死・欠損もあるが、どの木がこれから大きくなるのか楽しみである。

